

授業科目 アスレティックトレーナー現場実習

| 【担当教員名】 柵木 聖也 他 | | 対象学年 | 4 | 対象学科 | スポ |
|--|--------------------------------------|---|------------|------------|----------------------|
| | | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | | 単位数 | 4 | 時間数 | 180 |
| 【カリキュラムポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| 【概要・一般目標：GI0】 アスレティックトレーナーに必要とされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指すための実習である。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SB0】 1. 日本協公認アスレティックトレーナーまたは公認スポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての技術と知識を自分のものとして定着させる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | 本実習での具体的な学習内容は、下記のとおりである。 | | | | |
| 2 | (1) 見学実習 | | | | |
| 3 | (2) 検査・測定と評価実習 | | | | |
| 4 | (3) アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |
| 5 | (4) スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急処置等) | | | | |
| 6 | (5) アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等) | | | | |
| 7 | (5) 総合実習 | | | | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | 公認アスレティックトレーナー 専 門科目テキスト1～9 | (財) 日本体育協会 | (財) 日本体育協会 | |
| 参考書 | | | | | |
| その他の資料 | | | | | |
| 【評価方法】 レポート、現地視察 | | 【履修上の留意点】 上記の内容を、日体協公認ATまたは公認スポーツドクターのいる現場で学習する。単一の施設・組織で完結するのではなく、性格の異なる複数の現場で実習を行うことが望ましい。一日の最大学習時間は3時間、一週間の最大学習日数は5時間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であることを念頭に置いて欲しい。 | | | |